

牛群検定通信 No107

～肥ってる？痩せている？観察してみましょう～

牛群検定ではボディコンディションや肢蹄の状況を観察した結果を報告することが出来ます。観察のポイントや活用について紹介します。

1 見本写真

見本写真入りのマニュアル（リーフレット）を当団のホームページで公開しています。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

また、以下に連絡いただければ、見本写真のポスターやリーフレットを無料でお届けします。不明な場合はお電話下さい。

Tel : 03-5621-8921 Mail : toiawase@liaj.or.jp

2 ボディコンディションスコア

UV法により、2（消瘦）、3（普通）、4（過肥）の簡易的に3段階で報告するか、もしくは本格的に0.25刻みで報告することができます。

3 肢蹄状態

「蹄冠スコア」と「飛節スコア」に分かれ、それぞれ見本写真により1～5の5段階で報告します。1と2が良好ですが、3以上は要注意です。

4 ボディコンディションスコア（BCS）の活用

（１）周産期病など

BCSを牛群検定で報告することで、牛群の過肥や消瘦を管理できます。急激な消瘦（または過肥）となった場合は、成績表にマイナス（またはプラス）が表示され、好ましい飼養管理状態でないことを示します。特に分娩から泌乳ピーク期にかけては急激に体重を落とす場合も見受けられ、周産期病の原因となることもしばしばです。また泌乳後期や乾乳期にBCS 3.5より大きくなることは、難産や分娩事故等の原因ともなり飼養管理上好ましくありません。

（２）飼料効率など

BCSを報告することで、そこから検定成績表上に「推定体重」「推定乾物摂取量」「推定飼料効率」が表示されます。いずれも飼料設計を行う時に必要とするものです。特に飼料効率は、粗飼料と濃厚飼料をあわせて、1kgの飼料（乾物）が何キロの牛乳となったかを示すもので、初産牛で1.4、2産以上で1.5を越えれば良好と言えるでしょう。

5 肢蹄状況スコアの活用

蹄冠が赤く腫れる代表的な病気に蹄葉炎があります。関連として、濃厚飼料割合が多い場合、ルーメンアシドーシスを誘発させること等でも知られています。蹄冠スコアが3以上の牛が多い場合、選び食いや飼料設計などを見直してください。盗食にも要注意です。

また、蹄冠と飛節のどちらかでも3以上の場合、乳量が低下し、体細胞が増加することも知られています。